

【重点事業】(一部新規)

高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト

1 事業目的

生徒の「主体的な学び」を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、生徒の資質・能力(コンピテンシー)の向上を図る。

2 事業内容

～「課題発見・解決学習」の全県展開～

研究開発校(新規)

- 資質・能力の評価に関する研究を行う研究開発校を設置(10校:3年間継続[H30~32])
- 大学等からの専門的な指導・助言を得ながら、文献等の研究、校内での実践を通じた研究を実施

<研究開発校の取組例>

- ✓ 生徒の資質・能力の変容を見取るためのルーブリック(評価基準)の開発
- ✓ 資質・能力の評価方法(テスト、作品、レポート等)の研究 等

- 研究した成果をカリキュラム・マネジメント研修等において、全校に共有

得た知見を還元

全校対象事業

カリキュラム・マネジメント研修(新規)

- 資質・能力の育成を目指した効果的なカリキュラム・マネジメントの実現に向け、学校のカリキュラム全体を俯瞰し、校内で研修等を企画・実施できる教員を育成
- 全校(各課程)のカリキュラム・マネジメントの中心的な役割を担う教員を対象に実施

【研修テーマ例】

- ✓ 資質・能力の育成を目指した、教科等横断的な視点からのカリキュラム・デザインについて
- ✓ 授業研究とカリキュラム評価の関連付けについて

教科リーダー研修(新規)

- 授業の質の向上を図るため、教科特性を踏まえた「主体的な学び」を教科内で組織的に実践できる教員を育成
- 全校(各課程)の必修科目のある9教科を担当する教員を対象に実施

(国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報 の各教科で実施)

【研修テーマ例】

- ✓ 課題発見・解決学習を通じた「主体的な学び」を促す授業づくりについて
- ✓ 教科の「見方・考え方」の育成のための系統的な指導の在り方について

質問紙調査

各校が「学びの変革」の進捗状況を把握し、指導の改善を図ることを目的として、学校質問紙、生徒質問紙による調査を実施し、分析結果等を各校に提供

学校質問紙 組織的なカリキュラム・マネジメントの実践状況等の把握
生徒質問紙 生徒の「主体的な学び」の定着状況等の把握

生徒の資質・能力の向上

3 予算額

21,677千円(前年度 34,989千円)